

\*\*\* 日本プレイセラピー協会主催 \*\*\*

# プレイセラピー基礎講座シリーズⅡ

## CPRT 基礎理論

(子どもと親の関係性トレーニング)

日本プレイセラピー協会は、これまで、プレイセラピー、子育てに関心があるプレイセラピストをはじめとした多くの方々への講演・ワークショップ活動などを行ってまいりました。

基礎講座では、プレイセラピーを現在学んでいる方、すでに実践されている専門家の方々が、さらにプレイセラピーの知識や技術を研鑽できるような機会を提供していきたいと考えています。2007年に行われました第1回では、大野木嗣子先生を講師に迎え、子どもの問題に応じて遊びを処方するプリスク립ティブプレイセラピー (prescriptive play therapy) の考え方や技法の組み立て方について、基礎的な講義と少人数でのロールプレイなどの演習によって体験的に学ぶことができました。

第2回目の今回は、アックスラインの流れを汲む、ランドレス博士のもとで児童中心遊戯療法の訓練を受け、現在アメリカのサンディエゴプレイセラピーセンターにて、プレイセラピストとしてご活躍中の、ファリス小川裕美子先生をお招きし、フィリアルセラピーの一つである CPRT (Child-Parent Relationship Training、子どもと親の関係性トレーニング) の基礎理論を、講義と体験的な演習によって学びます。

プレイセラピストは親とどのようにかわれば、子どものために効果的なのでしょうか？

親の変化が不可欠だと感じて、なかなかうまくいかないことはありませんか？

親が子育てに自信を持つことをセラピストが助けることで、子どもの心に良い環境を作れたら・・・。

### CPRTとは

子どもの心の成長や抱えている問題を改善しようとするとき、私たちは子どもとセラピストの個人プレイセラピーを選択することが多いと思います。とはいえ、子どもとの個別のプレイセラピーだけでは不十分だと感じることは、少なからずあるのではないのでしょうか。子どもがほとんどの時間を一緒に過ごし、子どもに大きな影響を持っている「親」の変化が不可欠だと感じることは多くはないのでしょうか。

親に対するアプローチの仕方は様々ある中、現在、親、そして子どもの両者の変化に非常に効果があると研究により実証され、注目されているのが、フィリアルセラピー(親子関係療法)と呼ばれるアプローチです。フィリアルセラピーは、親にプレイセラピーの基本的姿勢、スキルを伝授し、親がプレイセラピストのような関わりを子どもと持てるようになることで、親と子の関係を改善、向上することを目標にしたアプローチです。フィリアルセラピーによってもたらされた親子関係の変化が、子どもが抱えている問題の改善につながることは多くの研究結果から報告されています。

CPRT (Child-Parent Relationship Training、子どもと親の関係性トレーニング) は、フィリアルセラピーを10週間という比較的短時間においてシステムティックな独自の方法で行い、子どもの成長・親子関係・親の子育てへの自信を回復する効果が実証されているものです。今回の講座では、CPRTの基礎を、講義と体験の両方で学びます。

**日程** 2009年3月29日(日曜日)10時から5時 (計6時間)

- ▽フィリアルセラピー概要
- ▽児童中心遊戯療法のおさらい
- ▽CPRTの理論と方法
- ▽ロールプレイによる練習

**会場** 南青山カンファレンスルーム(地下鉄表参道駅すぐ:お申込み確定後、地図を送付します)

**参加費** 10,000円 **定員** 30名

**対象** 心理・教育・保育・医療・看護・福祉の大学院在学以上、  
または、プレイセラピー実施経験のある方。

\*この講座は、**入門的な基礎知識がある方、特に児童中心遊戯療法の知識がある方のための応用的な理論を紹介する講座**です。ご参加の皆さんの経験や知識にばらつきがあることを少しでも解消し、皆さんの学びがより深まるために、以下の課題図書2冊を講座の日までにお読みいただくことを課題といたします。

課題図書①:Garry L. Landreth 著「Play therapy : the art of the relationship」Brunner-Routledge  
(日本語訳 ゲリー L. ランドレス著「プレイセラピー:関係性の営み」日本評論社)

課題図書②:Rise Van-Fleet 著「Filial Therapy: Strengthen Parent-Child Relationship Through Play」  
Professional Resource Exchange  
(日本語訳 リセ ヴァンフリート著「絆を深める親子遊び-子育て支援のための新しいプログラム」  
風間書房)

余力がある方は、英語ですが、以下をお読みになると、講座の理解が深まります。

- ・ Garry L. Landreth 著(2006)「Child-Parent Relationship Therapy:A Ten Session Filial Therapy Model」  
Brunner-Routledge
- ・ Garry L. Landreth 著(2006)「Child-Parent Relationship Therapy(CPRT) Treatment Manual :A Ten  
Session Filial Therapy Model for Training Parents」Brunner-Routledge

### 講師紹介 ◆◆◆ ファリス小川裕美子先生

日本で心理学科修士課程を終了後、都内の教育相談所にて教育相談員として勤務。また関東中央病院の神経精神科にて研修を行う。その後、プレイセラピーについて勉強をするため渡米。全米一のプレイセラピープログラムのある University of North Texas にて、子ども中心プレイセラピーの大家である Dr. Garry Landreth のもとで学び博士課程を終了する。

その後、大学で講師をする一方、公立小学校、個人クリニックで子どもを対象にカウンセリングを行う。またダラス日本語補習校のスクールカウンセラーも勤める。その他、2001年アメリカ同時テロ多発事件、2005年のハリケーンカトリーナの被災児への支援にもあたる。現在はカリフォルニア州サンディエゴにある San Diego Center for Play Therapy ([www.sdplay.org](http://www.sdplay.org)) にて子どもとその家族のカウンセリングを行う一方で、専門家の養成にも力を入れている。University of California San Diego, Extension Program プレイセラピーコース講師。臨床心理士、LPCS (Licensed Professional Counselor Supervisor), RPT-S (Registered Play Therapist Supervisor), MFTI (Marriage & Family Therapist Intern)

## 【お申し込み・お問い合わせ】

\* 日本プレイセラピー協会ホームページからのお申し込み、お問い合わせとなります。

協会ホームページ：<http://www.ja4pt.org/>

メール（[play\\_therapy@nifty.com](mailto:play_therapy@nifty.com)）、または、メールをお持ちでない方は、FAX042-759-6199（青山学院大学学生相談センター内日本プレイセラピー協会事務局）でも、以下の項目をご記入いただきましたら、お申し込みをお受けできます。（必要記入事項：お名前、ふりがな、性別、連絡先住所、電話、FAX、メールアドレス、所属、職種、心理臨床経験年数、プレイセラピー臨床経験年数、卒業大学院名と専攻、お申し込みプログラム名、研修証明書発行の希望の旨、臨床心理士の方は臨床心理士番号、当研修会をお知りになったきっかけについて）

\* お申し込み内容送付後、こちらから参加費振り込み口座をお知らせいたしますので、追ってご入金をお願いいたします。ご入金をもって正式受付となりますので、正式受理書類をお送りいたします。

\* ご入力のメールアドレスにお間違いがありますと、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。

\* お申し込み後、事務局より振込口座のお知らせ、入金後の正式受理通知などが、しばらくお待ちいただいても、お手元に届かない場合には、通信障害や郵送事故の可能性がございますので、お手数ですが、事務局までお問い合わせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

\* ご入金後のキャンセル、返金はいたしかねます。ご了承ください。

締め切り：2009年2月20日（金）先着にて受付（定員になり次第、締切日前でも締め切りとさせていただきますので、

予めご了承ください。定員空き状況はホームページにてご確認ください。）

## 【研修証明書発行】

\* 本講座は、米国プレイセラピー協会において認定された講師による、認定証明書発行対象のプログラムとなっております。（APT approved provider:08-225）

ご希望の方には、米国プレイセラピー協会の研修証明書を発行することができます。認定プレイセラピストの資格を取得する際に必要研修時間として認められます。発行手数料は3000円です。申込時に、要・不要を記入し、要の方はお振込み金額合計に3000円をご加算ください。

\* 臨床心理士ポイント申請予定です。

主催：日本プレイセラピー協会 [www.ja4pt.org](http://www.ja4pt.org)

共催：ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック

代表：湯野貴子（クリニック川畑・ファミリーメンタルクリニックまつたに）副代表（事務局長）：葛生聡（青山学院大学）

理事：大野木嗣子（Psy.D.、ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック）